



【第2戦・日本一ロシア】第3ピリオド9分すぎ、パックをキープする日本のDF志賀葵は、相手を引き付けて味方にパスを出すタイミングをうかがう

志賀葵は積極的なプレーが光った。「前日の第1戦は緊張でがちがちだった。試合自なので雰囲気に慣れ、相手のスピードにも対応できるようになった」と笑顔を見せた。

第1ピリオド(P)15分にはアタッキングゾーンに向かつてショート性の強いパスを打ち込んだ。カウンターで1人で持ち込む場面もあった。

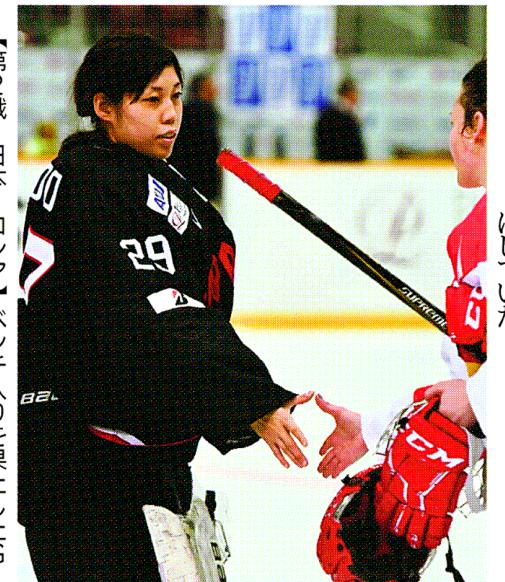
第3P 15分には最大の持



【第2戦・日本一ロシア】日本は第2ピリオド9分すぎ、獅子内美帆が先制ゴールを決め、相手GKの前でスクリーンとなり、得点につながる役目を果たしたFW小野糸子(中央)が歓喜する

**志賀、攻撃の起点に**

**積極プレー、鋭い球出し**



ベンチ入りのGK近藤真衣

**五輪へ「徹底的に準備を」**

GKの近藤真衣が念願のベンチ入りを見た。きょうは落ち着いて周囲を見られた」と納得の表情で見えた。冬季最年少の18歳は、平昌冬季五輪までにさらなるレベルアップを誓っていた。

志賀糸は積極的なプレーが光った。「前日の第1戦は緊張でがちがちだった。試合自なので雰囲気に慣れ、相手のスピードにも対応できるようになった」と笑顔を見せた。

第1ピリオド(P)15分にはアタッキングゾーンの内側から、相手ゴールに向かつてショート性の強いパスを打ち込んだ。カウンターで1人で持ち込む場面もあった。

第3P 15分には最大の持

**スマイルJ壮行試合**

# 小野志賀貢献

**若手中心のロシアに2ーー1**

と米山知奈(同)と組み、第2セットに。アタッキングゾーンでしぶとくキー・プレーで、鋭いパスも供給した。3度あつたパワー・プレーでは、矢可、細山田茜(道路建設ペリグリン)とのスペシャルセットで溝水した。

【長野】来年2月の平昌冬季五輪へ向け、女子アイスホッケー日本代表「スマイルジャパン」(世界ランキン9位)は25日、ロシア(4位)との国際壮行試合を長野市若里多目的体育館を長野市若里多目的体育館で行い、2ー1で競り勝った。獅子内美帆(トヨタ)が2ゴールした。十勝関係選手はフルタイムシステム(FTS)御影グレッグズのFW小野糸子(36)、紀山と帯広レディースのDF志賀葵(18)、帯三条高3年)が出場し、FTS御影グレッグズのGK近藤真衣(25)はベンチ入りした。

パワー・プレーのスペシャルセットとして溝水した小野糸は、1点目に相手GKの前に立ちスクリーンの役目を果たすなど貢献した。  
(北雅貴、金野和彦)

▽得点 日 ①細山田→床重→獅子内(2P 9分45秒)②床重→獅子内(2P 11分18秒)  
△反則 日 1 (①インナ→アレクサン德拉・マリヤ)  
△シユート数 日 1 (①岩原) □ 3  
□ 13 (6) [日] 5、23 2 (9) 8、8

日 本 2 (0) 0 (0) 1 ロシシア

前日にGWS(ゲーム・ワインディング・ショット)の末に4ー5で惜敗した日本は、第1ピリオド(P)9分、相手が反則で1人少ないパワー・プレーの好機で、床重矢可(西武)からのパスを獅子内がダイレクトで合わせて先制。11分に追い付かれたが、12分に再び獅

「主力があまりいなかつたことは言え、ロシアに勝つことは自信になる。個人

的には反省点は多いが、前日よりは集中力はあった」。10日ほど前にフィンラン

ドで行われた5カ国対抗戦で対戦。その時のメンバーで、守備で奮闘した小野糸子は、「テスして、プレ

ーを見てみたかった」(アレクセイ・チスチャコフ監督)と、若手を中心に大幅に選手を入れ替えたロシアに対し、前日は2度の2点リードを守り切れずに逆転負けした。この日は失点を減らしてロースコアに持ち込むプランをしっかりと実行した。「守備で特にバッヂエックのポジション取りを意識した。パスラインも消せるし、カウンターでの動きだしの早さにもつながる。まずはできた」

前日と同じく大澤ちは主将(道路建設ペリグリン)は、淡々と振り返った。

中山武司日本本監督の話によると、「前日にできなかつた敵は、前日にできなかつた敵での最終合宿に臨む。

## 自信取り戻せた

GKの近藤真衣が念願のベンチ入り。藤本那菜(Vortex Sa poro)がフル出場したため、出番はなかつたが「やっぱりリンクに近い距離でサポートできるのはいいなと思った。得点が入つたときに一緒に喜べるうれしさをかみしめていました」と笑った。

フィンランド遠征は4試合ともベンチ外。ロシアとの前日の壮行試合も、試合の録画係としてスタンンドでビデオを回していた。

ロシアのアレクセイ・チスチャコフ監督が高く評価した藤本の動きを間近に見ながら、近藤は「私もゴールを守るのにふさわしい人になれるよう、時間をして徹底的に準備をし続けたい」と気持ちを新たにしていった。

【第2戦・日本一ロシア】ベンチ入りを果たしたGK近藤真衣は試合後、ロシアの選手と握手を交わす